

資質・能力			小学校1・2年生	資質・能力を身に付ける学習場面の例
観点	趣旨	小項目	STEP1	(府中市において考えられる、具体的な授業場面)
基本的操作	知識・技能 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 (情報通信端末を利用するためのジェネリックスキル)	情報機器の基本的な操作技能 (情報の入力)	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影などの基本操作ができる	・生活科：植物の成長の様子をタブレットのカメラ機能を使い、記録する。
		情報の入力に係るジェネリックスキル	起動・シャットダウン、ログイン・ログアウト、カメラ・ビデオ操作	・生活科：植物の成長の記録をカメラで撮り、比較する。
		情報機器の基本的な技能 (アプリケーション等の使用・操作)	学習支援アプリケーションを選択・操作できる	・全般：教師が用意したformsを活用して授業の振り返りを行う。
		アプリケーション等の使用・操作に係る ジェネリックスキル	クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチイン・アウト	・国語：「じどう車くらべ」で文章構成の検討で、文章の並び替えを行った際に、選択肢をドラッグアンドドロップする。
			動画閲覧ソフト、簡易ペイントソフト	・図工：学習の際、描画アプリを使って、お絵かきをする。
			学習支援ソフト(eライブラリ等)	・朝学習等：自己の学習状況に合わせて自主的に取り組む。
		情報機器の基本的な操作技能 (検索)	キーワード検索ができる	・生活科：手書き入力や音声入力をして調べる。
		検索に係るジェネリックスキル	画像検索	・国語：「かたかなのひろば」では、言葉に合う画像を手書き入力や音声入力で検索し、貼り付ける。
情報機器の基本的な操作技能 (保存)	ファイルの呼び出しや保存ができる	・国語：「お手紙」で、音読発表会の様子を撮影した動画を共有にして保存する。		
保存に係るジェネリックスキル	ファイルを開く、ファイルを保存する	・国語：「お手紙」で、音読発表会の様子を撮影した動画を共有にして保存し、投稿する。また、投稿された動画を選択し、視聴する。		
情報モラル・ 情報セキュリティ	知識・技能 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	情報モラルなどについての理解	自他の大切さを理解できる	・道徳：「角がついたかいじゅう」で、してよいことと悪いことを区別し著作権について考える。 ・特別活動：SNSノートを活用し、情報端末を使用する場合の注意事項について学習する。
		情報セキュリティについての理解	情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用できる	・全般：クラスルームのストリーム内への書き込みについて、周囲に十分な配慮をし、学習活動に関係することのみを書き込むことを理解して使用する。
	思考力・判断力・表現力等 情報を活用する力	情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	インターネット上でのルールやマナーを守り、情報を閲覧したり、発信したりできる	・国語：「お手紙」で、ジャムボードに登場人物の心情をまとめる。それを投稿し、友達と見合い、感想をストリームにてコメントを残す。(言われて嫌な言葉、見ていて不快に思う言葉の投稿はしない等の投稿する際の注意点などを事前に学習する。)
		情報セキュリティを確保しながら情報を活用する力	自他の個人情報を教えたり、不審なサイトにアクセスしたり、不審なアプリケーションをダウンロードしたりしない	・学活：「他人と自分のアカウントシートの貸し借りをしない。ログイン用の二次元コードは、教室の決められたところに保管する。また、使用した後は、すぐに元の場所に戻す。」などの決まりを理解する。 ・学活：家庭で使用する場合保護者と一緒に操作することや、分からない時はページを閉じる。
	学びに向かう力・人間性等 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	自他の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	・学活：毎時ログイン用の二次元コード使用後は担任に返却する。 ・学活：全校児童に配布されている〇〇小のルールで、自分や家族の写真、住所や電話番号、友達の写真は、勝手にパソコンに保存したり、インターネットで公開したりしてはいけないこと等を確認する。
		情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を使おうとする	・生活科：「町たんけん」の調べ学習をするうえで、情報収集ツールとしてクロームブックを使用し、自分の町にある施設を検索、情報収集を行う。

資質・能力			小学校3・4年生	資質・能力を身に付ける学習場面の例
観点	趣旨	小項目	STEP2	(府中市において考えられる、具体的な授業場面)
基本的操作	知識・技能 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 (情報通信端末を利用するためのジェネリックスキル)	情報機器の基本的な操作技能 (情報の入力)	キーボードで文字入力ができる (10文字程度/1分間)	・低学年の「音声入力」「手書き入力」に加え、中学年では「キーボード入力」を併用する。高学年では「キーボード入力」のみで文字入力をする。 ・3年国語「ローマ字」の学習後、調べ学習においてキーボード文字入力で検索する学習を行う。
		情報の入力に係るジェネリックスキル	入力モード切替、数値入力、ローマ字入力(ローマ字一覧表の活用) コピー&ペーストの方法を知る。(ショートカットキー含む)	・児童によってはローマ字一覧表を活用しながら入力する。 ・アルファベット入力から日本語入力にするやり方を知る。
		情報機器の基本的な技能 (アプリケーション等の使用・操作)	Googleアプリケーションを選択・操作できる	・国語、理科、社会：多様な考えを表出させるときにジャムボードを用いる。音声入力や手書き入力を併用する。 ・国語、社会：ドキュメント、スライドで学習内容をまとめる。
		アプリケーション等の使用・操作に係る ジェネリックスキル	ワープロソフト(GoogleドキュメントやWord等)	・国語：イラストやテキストボックスを使って物語を表現する。
			プレゼンテーションソフト(GoogleスライドやPowerPoint等)	・総合：「多摩川たんけん隊」の生き物図鑑づくりや社会の水害について、スライドを使って、発表を行う。
		情報機器の基本的な操作技能 (検索)	+, -などの論理演算子を用いた検索ができる	・国語の学習、物語の読み取りでビスケットを使ってイラストが動くようにする。 ・図工：「絵を動かしてみよう」ではviscuitを使用して絵を描き、プログラムを入力し絵を動かす。
		検索に係るジェネリックスキル	+検索、-検索	・総合：調べ学習の際に様々な言葉を使いながら、検索する。うまく検索できなかったら、どうしてか考える。 ・全教科：「理科 月」など、関連する言葉を具体的に検索する。情報が多すぎたら、検索の単語を足す、情報が少なすぎたら、検索の単語を減らす。
		情報機器の基本的な操作技能 (保存)	ファイルの検索ができる	・検索しやすい、わかりやすいファイル名を付けるようにする。 ・マイドライブと共有アイテムの違いを理解し、保存した先からファイルをキーワードで検索する。
保存に係るジェネリックスキル	ファイルの検索	・見る人のことや保存後のことを考えて、保存する先や名前を付けることを知る。		
情報モラル・ 情報セキュリティ	知識・技能 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	情報モラルなどについての理解	自他の情報の大切さを理解できる	・学級活動・道徳：「chromebookの使い方(情報モラル)」クラスルームを使用するとき、コメントを書くときの注意点を知る。 ・特別活動：SNSノートを活用し、顔の見えない相手に伝えるときの伝え方について学習する。
		情報セキュリティについての理解	情報を守るための基本的な方法を知り、使用できる	・SNS東京ノートやNHK for schoolの動画を通して、学習する。 ・起動時やシャットダウン時IDの適切な管理について知る。タブレットの使用後は、必ずログアウトをすること、他の児童のタブレットを使用しないように確認し、実行する。
	思考力・判断力・表現力等 情報を活用する力	情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	インターネット上などにある情報が正しいかどうか判断できる	・調べ学習等の際に、「間違った情報がある」ことを知る。(フェイクニュースなど) ・セーフティー教室：SNSの活用について講師から講話を聞き、インターネット上の情報が全て正しいとは限らないことについて学習する。
		情報セキュリティを確保しながら情報を活用する力	不審なメール、迷惑メールなどに適切に対処できる	・classroomのストリーム機能を活用する際、不適切な内容については、「こういうものが迷惑、不審な内容で、不快になることや、メールなどでも同じ」ということを知る。 ・学級活動・道徳：「chromebookの使い方(情報モラル)」で情報セキュリティなどに関する学習の際に不審なメールへの対処の仕方を知る。
	学びに向かう力・人間性等 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	自他の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする	・jamboardなどの共同作業をする際に、相手が考えた大切な情報を勝手に消さないようにする。 ・画像を撮影する際などに、個人情報の大切さについて知る。
		情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を、生活に生かそうとする	・国語：話し合いでジャムボードを使用し、発表や新聞づくり以外にもタブレットが使用できると使い方の幅を広げる。(学級活動、係活動、総合、道徳など) ・調べ学習：調べて分かったことを、コピーしたものをそのまま使わず、自分の言葉に置き換えて新聞やポスターにまとめる。

資質・能力			小学校5・6年生	資質・能力を身に付ける学習場面の例
観点	趣旨	小項目	STEP3	(府中市において考えられる、具体的な授業場面)
基本的操作	知識・技能 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 (情報通信端末を利用するためのジェネリックスキル)	情報機器の基本的な操作技能 (情報の入力)	文字入力ができる (30文字程度/1分間)	・朝学習の時間を活用しタイピングソフトなどを使って反復練習をする。 ・フォーム、スライド、ジャムボードなどの作成を繰り返し行う。
		情報の入力に係るジェネリックスキル	切り取り、コピー、貼り付け	・各教科のまとめなどで、ドキュメントやスライド、ジャムボードなど目的に応じて活用する。
		情報機器の基本的な技能 (アプリケーション等の使用・操作)	目的に応じてアプリケーションを選択・操作できる	・各教科の発表やまとめなどで、ドキュメントやスライドを活用する。
		アプリケーション等の使用・操作に係る ジェネリックスキル	表計算ソフト(GoogleスプレッドシートやExcel等)	・理科の実験結果などを打ち込み、平均値を出す場面や、算数「平均」の学習で大人数の平均値を出したい場面などで活用する。 ・各教科の意見交流の場面で自分の意見を打ち込むなど、友達の意見が一覧で見られるようにする。
			グループウェア(Googleフォームや、Googleクラスルームの機能を活用した共同編集等)	・委員会や係活動などでアンケートを取りたい場合に作成し、配布・集計する活動に生かす。
			プログラミング言語(スクラッチ Scratch 等)	・算数「正多角形の角」理科「電気の働き」で教科書Webサイトやscratchを活用し、プログラミングをする。 ・教育課程内で各教科等とは別に実施する時間でスクラッチを学習する。
		情報機器の基本的な操作技能 (検索)	AND、ORなどの論理演算子を用いた検索ができる	・社会や理科の学習などの場面で、インターネット検索の仕方を学習する際に、「単語で打つ」、「スペースを空ける」などを活用する。
		検索に係るジェネリックスキル	and検索、or検索、*検索、""検索、関連画像検索、ハッシュタグ検索	・情報の信頼性を考えて、検索するサイトを選択することができる。
情報機器の基本的な操作技能 (保存)	ファイルやフォルダの管理ができる	・各教科のまとめなどで、ドキュメントやスライドを活用した際に、共有ドライブや共有アイテム、マイドライブの違いについて理解する。教科ごとのフォルダに保存する。		
保存に係るジェネリックスキル	保存場所の選択、上書き保存、名前を付けて保存、ファイルの移動・コピー・削除	・chromebookでは自動保存されるため、必要ないが、Windowsなどでは新規の保存や上書き保存が必要であることを理解する。必要に応じて、フォルダの取捨選択ができる。		
情報モラル・ 情報セキュリティ	知識・技能 情報モラル・情報セキュリティ などについての理解	情報モラルなどについての理解	情報に関する自他の権利を知る	・道徳や学級活動の授業を利用して、SNS東京ノートを活用して情報モラルについて学習する。
		情報セキュリティについての理解	情報を守るための方法を知り、使用できる	・道徳や学級活動の授業を利用して、情報モラルについて学習する。 ・使用後は必ずログアウトする。
	思考力・判断 力・表現力等 情報を活用する力	情報モラルなどに配慮しながら 情報を活用する力	ルールやマナーを守り、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを利用できる	・セーフティ教室などを利用して、より身近な犯罪の例などを基に理解する。
		情報セキュリティを確保しながら 情報を活用する力	セキュリティ管理のためのIDやパスワードを適切に管理、利用できる	・平日頃利用しているIDを使ったらすぐに戻す、人には渡さない・見せない、ログイン用の二次元コードは決められた場所で保管することの大切さを理解する。
	学びに向かう 力・人間性等 情報モラル・情報セキュリティ などについての態度	責任をもって適切に 情報を扱おうとする態度	情報に関する自他の権利があることを踏まえ、適切に行動しようとする	・社会や国語、道徳や学級活動の授業を利用して、著作権や肖像権等を理解し、引用や出典の示し方等情報を適切に活用していくようにする。 ・個人情報を公開しない、関係のないページを開かない、共有されていても人のデータを勝手に書き換えてはいけないことを理解する。
		情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を、よりよい生活や社会づくりに生かそうとする	・道徳や学級活動の授業に加え、社会や国語でも情報モラルについて必要な場面で適宜学習する。

資質・能力			中学生	資質・能力を身に付ける学習場面の例	
観点	趣旨	小項目	STEP 4	(府中市において考えられる、具体的な授業場面)	
基本的操作	知識・技能 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 (情報通信端末を利用するためのジェネリックスキル)	情報機器の基本的な操作技能 (情報の入力)	文字入力ができる (40文字程度/1分間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報とコンピュータ』内、タイピング練習をする。</li> <li>技術: 情報機器の基礎的な操作の授業で学習をする。</li> <li>各教科: タブレットを活用した授業での文字入力をする。</li> <li>各教科・総合: 授業で作成するまとめや、事前・事後学習発表のレポート等を作成する。(スライド・ドキュメント)</li> </ul>	
		情報の入力に係るジェネリックスキル		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で情報モラル(自分の情報の公開範囲、相手に対しての言葉遣い、肖像権・著作権等)を身に付ける。</li> <li>文字入力が適正にできる。(キーボード入力、文字パレットからのフリック入力、音声入力を含む)</li> </ul>	
		情報機器の基本的な技能 (アプリケーション等の使用・操作)	目的に応じて適切にアプリケーションを選択・操作できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報とコンピュータ』内、各種アプリケーション(ドキュメント、スプレッドシート、スライドなど)を活用する。</li> <li>技術: アプリケーションを使用したプログラミング学習・実技教科での意見交換やまとめをする。(ジャムボード・スプレッドシート)</li> <li>理科: 実験結果の整理分析をする。(スプレッドシート)</li> <li>総合: 事後学習のまとめをする。(スライド)</li> </ul>	
		アプリケーション等の使用・操作に係る ジェネリックスキル	画像・動画編集ソフト  ビデオ会議ソフト(Google Meet)  動画配信ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報とコンピュータ』内で画像加工をしてデータ量を理解する。(図形描画)</li> <li>編集については、操作する機会はないが、技術科等で知識として習得する。</li> <li>保健体育: 生徒の実技における動画撮影及び振り返りに活用する。(カメラ)</li> <li>総合: 事後学習での発表スライド作成をする。(スライド)</li> <li>各教科: 遠隔授業の参加をする。(Meet)</li> <li>学活: オンライン朝学活の接続をする。(Meet)</li> <li>学活: 連絡事項の確認及び学級のきまりについての議論等で活用、生徒総会の生配信をする。(Meet)</li> </ul>	
		情報機器の基本的な操作技能 (検索)	目的に応じて適切に検索できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合: 交通経路検索をする。(YAHOO!地図)</li> <li>総合: 行き先の情報収集をする。(検索エンジン)</li> </ul>	
		検索に係るジェネリックスキル	~検索、define:検索、filetype:検索、translate to:検索、site:検索、related:検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合: 調べ学習をする。(検索エンジン)</li> </ul>	
		情報機器の基本的な操作技能 (保存)	ファイルやフォルダを操作できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科: フォルダを作成し、作品データを保存する。</li> </ul>	
		保存に係るジェネリックスキル	ファイルの圧縮、ファイルの暗号化	<ul style="list-style-type: none"> <li>Googleはクラウド上自動保存のため、操作する機会がないが、技術科等で知識として習得する。</li> </ul>	
		情報モラル・ 情報セキュリティ	知識・技能 情報モラル・情報セキュリティ などについての理解	情報モラルなどについての理解	情報に関する個人の権利と重要性について理解できる
情報セキュリティについての理解	情報セキュリティ確保のための対策を実施できる			<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報セキュリティと情報モラル』情報技術を用いた事件・犯罪について学習する。</li> <li>総合: 事例を基にした実践力を身に付ける。[SNS東京ノート]</li> <li>学活: タブレット端末を施錠可能な場所に保管する。</li> <li>学活: なりすまし等の事案例を通してセキュリティに関して学ぶ。</li> </ul>	
思考力・判断 力・表現力等	情報を活用する力		情報モラルなどに配慮しながら 情報を活用する力	目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを適切に利用できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『双方向性のあるコンテンツによる問題解決』について、疑似体験的に学習する[人権教育プログラム]</li> <li>総合: 事例を基にした実践力を育む。[SNS東京ノート]</li> <li>セーフティー教室、道徳等を通して学習する</li> </ul>
			情報セキュリティを確保しながら 情報を活用する力	目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を安全に利用できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報とコンピュータ』『双方向性のあるコンテンツによる問題解決』について学ぶ。(フォーム)</li> <li>各教科および学活: 収集した情報の適切かつ有効な活用について理解する。</li> <li>総合: 校外学習の行き先までの経路を調べる。</li> <li>総合: 事例を基にした実践力を身に付ける。[SNS東京ノート]、情報モラルに関する学習をする。</li> </ul>
学びに向かう 力・人間性等	情報モラル・情報セキュリティ などについての態度		責任をもって適切に 情報を扱おうとする態度	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『情報セキュリティと情報モラル』SNS疑似体験学習をする。[人権教育プログラム]</li> <li>総合: 事例を基にした実践力を身に付ける。[SNS東京ノート]</li> <li>道徳: 遵法精神、公德心に関連して学習をする。</li> <li>学活: SNS使用についての学習を通し、著作権や肖像権といった個人の権利についての学習をする。</li> </ul>
			情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術: 『これからの情報の技術』SNS疑似体験学習をする。[人権教育プログラム]</li> <li>総合: 事例を基にした実践力を身に付ける。[SNS東京ノート]</li> <li>各教科: SDGsに関する情報を活用し学習をする。</li> <li>タブレットを活用して調べ学習をする。</li> </ul>